

目標の進捗状況報告書

(2012年度・大学)

担当部局は ☆印の箇所を記入してください。

I. 評価項目・要素と担当部局

本シートでの自己点検・評価を行う部局と項目・要素は次のとおりである。

対象部局	国際学部
大項目	9 教育研究等環境
中項目	
小項目	9.0.4 教育研究等を支援する環境や条件は適切に整備されているか。
要素	教育課程の特徴、学生数、教育方法等に応じた施設・設備の整備 ティーチング・アシスタント (TA) ・リサーチ・アシスタント (RA) ・技術スタッフなど教育研究支援体制の整備 教員の研究費・研究室および研究専念時間の確保

II. 目標の進捗評価と進捗状況報告(2012.4.30現在の進捗状況報告)

《進捗評価》

本項目において、2009年度～2013年度の中期的な「目標」と「指標」を次のとおり設定し、毎年度進捗状況の自己評価を行っている。進捗評価はA、B、C、Dの4段階とし、2012年4月30日現在における目標の達成度評価(2013年度の達成に対してどこまで進んだかの評価)を行った。A、B、C、D評価は目安として次のようなものである。

- A : 目標実現のための計画や方策などを適切に実行し、目標を達成している。もしくはほぼ達成している。
- B : 目標実現のための計画や方策などを概ね適切に実行しているが、まだ目標は達成していない。
- C : 目標実現のための計画や方策などを実行しているが十分ではなく、目標は達成していない。達成にはまだしばらく時間がかかる。
- D : 目標実現のための計画や方策などを実行していない。当然目標は達成していない。

2010年度に設定した「目標」	左記目標の「指標」	進捗評価			
		2010	2011	2012	2013
1. 教育補佐を4名配置する。	1. 指標：教務補佐4名に対する採用率 評価基準：4名採用した…評価A、3名採用した…評価B、2名採用した…評価C、1名以下の採用…評価D	B	A		
2. 文部科学省等の外部資金に10件以上申請する。	2. 指標：文部科学省等の外部資金の申請件数 評価基準：10件以上…評価A、9～8件…評価B、7～6件…評価C、5件以下…評価D	B	A		

☆

2011年度以降に設定した「目標」	左記目標の「指標」	2010	2011	2012	2013
	→				
	→				

《進捗状況》

目標の進捗状況について次のとおり簡単に説明する。

目標1	教務補佐を4名採用した。
☆ 目標2	2012年度科学研究費等申請件数は、新規7件、継続4件、計11件であった。
備考	

《評価指標データ》

(特定項目データ)本項目は数量的なデータによる評価(現状分析)が可能のため、次のとおり指標を定め経年比較している。

【国際学部】			単位	2008	2009	2010	2011	2012	備考
指標1	教学補佐、実験実習補佐・教務補佐、 授業補佐の採用数	教学補佐	人			0	0	0	
		実験実習 指導補佐・ 教務補佐	人			3	4	4	
		授業補佐	人			0	0	0	
指標2	専任教員の担当授業時間(平均)	教授	時間			11.6	11.2	12.1	45分をもって1時間に換算
		准教授	時間			8.0	8.2	8.6	
		講師	時間			18.2	17.0	17.0	
		助教	時間			—	—	—	